



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 293
August
2017

トピックス

関係機関との防災協力推進

JICA研修「中央アジア・コーカサス総合防災行政」プログラムの実施

●関係機関との防災協力推進

JICA研修「中央アジア・コーカサス総合防災行政」プログラムの実施

アジア防災センター（ADRC）は、国際協力機構（JICA）と協力し、中央アジア・コーカサス地域の防災担当行政官を対象とした研修を2017年6月19日から7月29日まで実施しました。中央アジア地域のカザフスタン、キルギス、タジキスタン、及びコーカサス地域のアルメニアの計4カ国から、中央または地方政府の防災担当行政官計8名が参加し、ロシア語による研修が行われました。



雪氷防災研究センターで設備の説明

本研修は、防災行政に関する基礎的な内容について、日本の防災の知識や経験、蓄積してきた技術を提供するとともに、自国・地域が当面している懸案や課題への取り組みを行っている各機関において、現状の取組を向上させることを目的としています。中央アジア・コーカサス地域では、洪水、干ばつ、地滑り、地震といった災害が多く発生し、複数の国に被害が及ぶことも稀ではありません。また、冬季は積雪も多く、雪解け時期に山岳氷河が洪水を発生させることもあり、これらの国々は共通の防災課題を抱えています。そこで、研修プログラムは中央政府・地方自治体・防災拠点・ライフライン・研究機関・予報機関・メディア・民間企業・NPO・国際協力機関などから広範囲にわたる講義を受け、これら課題解決に向けた防災について学びました。

例えば、山形県の雪氷防災研究センターにおいては、日本が過去の雪害から学んだ防災対策や情報共有の取り組み等について学びました。雪害が最も大きな課題である研修生にとって、大変貴重な機会となりました。また、ハザードマップ作成のための「タウンウォッチング」プログラムにおいては、コミュニティレベルにおける防災能力の普及について学ぶことができました。その他にも、東京、つくば、新潟、兵庫県内における多くの関係施設に訪問し、多岐にわたる防災に係る講義や見学を経験することができました。

今回の研修において、研修生が研修で学んだ知識、技術、手法を様々なプロジェクトに実践し、自国のより良い防災体制を構築していくことが期待されます。さらに、研修期間内に深めた研修員間のネットワークを、地域内の防災連携に生かしていくことも極めて重要です。なお、当研修実施にあたり、訪問等を受入れていただきました各関係機関の皆様には厚く御礼申し上げます。今後とも引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2017

【問い合わせ・配信希望】

ニュースレターに対するお問い合わせ、配信をご希望の方は(editor@adrc.asia)までEメールをお寄せください。